

平成30年度 福岡県小郡市施策評価シート

政策

4 やさしさあふれる健康と福祉づくり

施策

1 地域福祉

施策コード

施策内容

1 地域福祉の推進

2 地域福祉活動の担い手の確保

3 情報共有化の推進

4 虐待の防止へ向けた取組み

5 ユニバーサルデザイン化の促進

6

7

8

9 その他

P4011

P4012

P4013

P4014

P4015

P4019

【施策の基本目標】

地域住民や地域活動・地域福祉活動を行う人たち、市内の事業者、社会福祉協議会、市などがそれぞれの役割や特性を活かしながら「支え合い」の関係を築き、その関係性を深めていくことで、誰もが必要なときに適切な福祉サービスを利用しやすい仕組みづくりや、福祉サービスの内容と提供体制の充実、交流の場や市民参加の機会の充実に努めます。

【投入されたコスト及び業務量】

投入コスト(千円)		H30年度決算
事業費（財源内訳）	国支出	53
	県支出	26
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,119
合計(千円)		3,198

※本施策の推進にかかった評価対象の事務事業費合計額を表示しています。

【第5次小郡市総合振興計画における成果指標】

成果指標番号	成果指標	担当課	担当係	基準値(H26)	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R01年度実績	R02年度実績	最終目標(R02)
39	ボランティア登録団体数	福祉課	地域福祉係	28団体	30団体	32団体	25団体	34団体			35団体
40	ボランティア情報センター利用者数	福祉課	地域福祉係	5,682人	5,194人	5,197人	4,448人	4,618人			6,000人

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

市民福祉部長	施策の進捗状況・評価	市民意識調査によると、福祉の支え合いの必要性は90%以上が「必要と思う」との回答から、意識は高まってきていると考えられる。ただ年齢層別では20歳代が最も割合が高かったのだが、実際の活動にはつながっていない面もある。気軽に福祉ボランティアに関われるような機会の展開がより求められる。
	今後の施策展開	現在、2か年をかけ、第2期地域福祉計画・活動計画の令和元年度末までの策定作業を行っている。市民参画による一体的計画となることで、より市民に分かりやすい計画策定となるよう、取り組んでいる。
	施策の進捗状況・評価	
	今後の施策展開	
	施策の進捗状況・評価	
	今後の施策展開	
副市長意見		